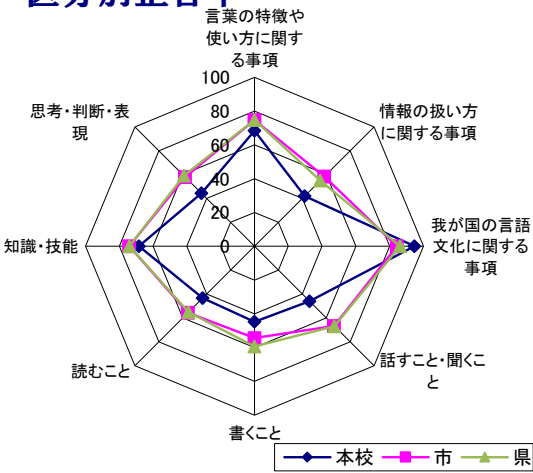


宇都宮市立清原北小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	68.4	74.7	74.8
	情報の扱い方に関する事項	42.1	58.4	55.0
	我が国の言語文化に関する事項	94.7	84.3	86.1
	話すこと・聞くこと	46.1	66.7	66.9
	書くこと	44.7	54.3	59.3
	読むこと	43.4	55.6	55.2
観点	知識・技能	68.4	74.1	74.0
	思考・判断・表現	44.4	58.0	59.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は市や県の平均より低かった。 ○指示する語句の役割を理解し、適切に使う問題は、94.7%と市や県の平均をやや上回った。 ●ローマ字で表記されたものを正しく読む問題は、47.4%と市や県の平均を大きく下回った。	・ローマ字は外国語活動にも関わってくる大切な学習であるため、朝の学習や宿題に積極的に取り入れ、定着を図っていく。また、引き続き一人一台端末を使った学習も継続していく。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は市や県の平均より低かった。 ●国語辞典の使い方を理解し、使うことができる問題では、42.1%と市や県の平均を大きく下回った。	・国語辞典の使い方を再度確認するとともに、一人一台端末ばかりに頼ることなく国語辞典を手元に置いてすぐに調べられるようにしたり、付箋を貼って調べることに意欲付けを図ったりする。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は市や県の平均より高かった。 ○漢字が「へん」や「つくり」などから構成されていることについて理解する問題では、94.7%と市や県の平均を大きく上回っていた。	・引き続き新出漢字を指導する際に、「へん」や「つくり」についてしっかりと指導していくとともに、自主学習などで引き続き定着させるようにする。
話すこと・聞くこと	平均正答率は市や県の平均より低かった。 ●司会者の話し方の工夫を捉える問題では、47.4%と市や県の平均を大きく下回った。	・話し手が何を伝えたいのか話の中心を捉えることができるように「話の聞き方」について継続して指導するとともに、話を聞かるときに共通点や相違点に着目しながら話を聞く習慣を付けるために、授業の中でそれを意識した発問を意図的にする場面を設ける。
書くこと	平均正答率は市や県の平均より低かった。 ●指定された長さで文章を書く問題では、31.6%と市や県の平均を大きく下回った。	・授業中の振り返りや日記など、まずは日頃から書く習慣を身に付けていくとともに、授業や宿題について字数を制限した問題に取り組ませることで定着を図る。
読むこと	平均正答率は市や県の平均を下回った。 ○登場人物の気持ちについて、叙述を捉える問題では、63.2%と市や県の平均を大きく上回った。 ●情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約する問題では、15.8%と市や県の平均を大きく下回った。	・段落ごとに「何が書いてあるか。」「要点は何か。」「要点を言い換えるとどのような言葉で表せるか。」を授業の中で指導していくとともに、「書き抜き」活動を授業の中で意識的に取り上げる。